

「たくましい“かごしまっ子”」育成推進事業

1 現状と課題

平成13年度から、「たくましい体・強い心」子ども育成推進事業に取り組んできた結果、自ら進んで運動に親しむ児童生徒が育成されつつあり、この10年間の体力テストの結果をみると向上した種目もある。

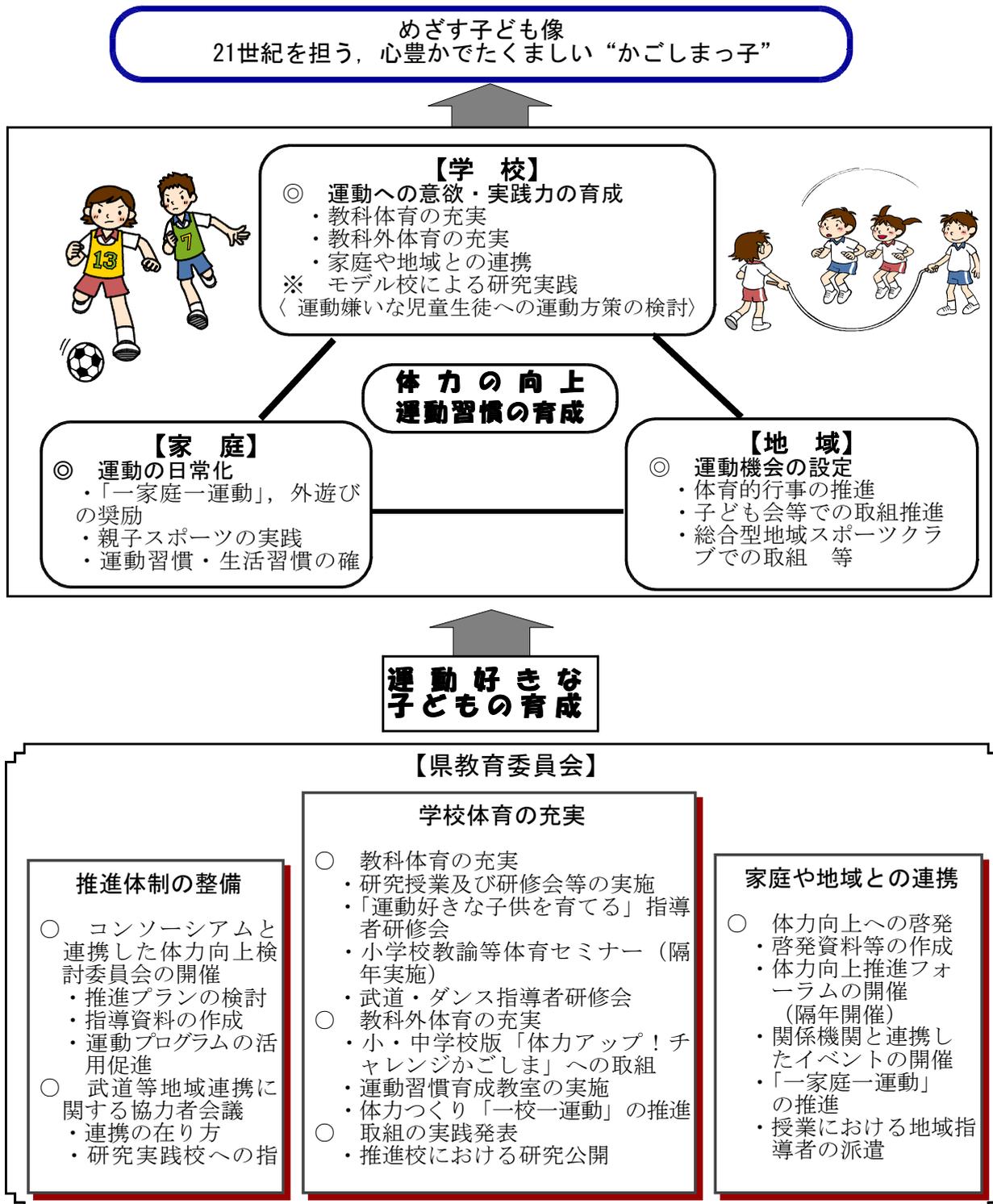
しかしながら、学校での運動機会・運動量の減少、運動する子どもとしない子どもの二極化、外遊びの減少、また、家庭や地域と連携した体力向上の取組が不十分であることなどが要因となり、全国と比較するとやや低い状況であり、体力水準の高かった昭和60年頃には達していない。

2 目的

体力向上への各種の取組を推進して、子どもたちの「運動への意欲・実践力」を育てるとともに、家庭や地域と連携して子どもたちの「運動の日常化・生活化」を図り、「運動好きな子ども」を育てることによって、心豊かでたくましい体を持った児童・生徒を育成する。

3 推進期間 平成23年度～平成32年度（10年間）

4 構想図（H30改訂）



5 事業内容

動期	事業名等	内 容																				
推進体制の整備	1 体力向上方策検討委員会等の設置・開催 ※コンソーシアムの積極的活用	(1) 体力向上方策検討委員会 ア 構成 鹿児島体力コンソーシアム, 小体連・中体連代表, 大学関係者, 県体協, 行政関係者, 事務局(保健体育課) 計22人 イ 開催回数 年3回(推進校視察1回を含む) ウ 協議内容 事業内容, 実施体制, 体力向上推進プランの検討・検証 (2) 推進校連絡協議会 ア 構成 大学, たくましい“かごしまっ子”育成推進事業推進校代表 体育センター, 事務局(保健体育課) 計21人 イ 開催回数 年2回 ウ 協議内容 推進プラン検討, 実践 (3) 中学校武道等地域連携推進事業協力者会議 ア 構成 学識経験者, 競技団体の代表, 行政関係者, 事務局(保健体育課), 計19人 イ 開催回数 年2回 ウ 協議内容 事業内容, 実施体制, 課題等検討, 指導助言																				
	学校での推進	1 学校での取組 (1) 体育に関する研究授業及び研修等の実施 } ※ 運動が苦手な児童生徒に対する (2) 運動習慣育成教室の実施 } 方策の検討・実践 (3) 学校や家庭で実践できる「体力向上プログラム」の実践 (4) 「チャレンジかごしま」への取組 (5) 家庭・地域と連携した体力向上の取組推進 (親子で取り組む「一家庭一運動」の推進, 家庭で取り組む体力向上実践カード等の作成配布)																				
学校体育の充実	2 推進校の指定	(1) 指定期間 2年間 (2) 校数 原則毎年各校種1校 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">23・24</td> <td style="width: 40%;">小2, 中1</td> <td style="width: 10%;">28・29</td> <td style="width: 40%;">小2, 中1</td> </tr> <tr> <td>24・25</td> <td>小1, 中1, 高1</td> <td>29・30</td> <td>小3, 中1</td> </tr> <tr> <td>25・26</td> <td>小4, 中2, 特別支援学校1</td> <td>30・31</td> <td>小1, 中2</td> </tr> <tr> <td>26・27</td> <td>小3, 中3</td> <td>31・32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27・28</td> <td>小1, 中3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (3) 研究内容 ア 教科体育及び教科外体育における体力向上の取組 ※ 運動が苦手な児童生徒に対する方策の検討・実践・検証 イ 家庭及び地域と連携した体力向上の取組 等 ウ 授業等への地域スポーツ人材の派遣	23・24	小2, 中1	28・29	小2, 中1	24・25	小1, 中1, 高1	29・30	小3, 中1	25・26	小4, 中2, 特別支援学校1	30・31	小1, 中2	26・27	小3, 中3	31・32		27・28	小1, 中3		
	23・24	小2, 中1	28・29	小2, 中1																		
	24・25	小1, 中1, 高1	29・30	小3, 中1																		
	25・26	小4, 中2, 特別支援学校1	30・31	小1, 中2																		
26・27	小3, 中3	31・32																				
27・28	小1, 中3																					
3 地域指導者の派遣	学習指導要領に基づいた中学校保健体育科における武道等の授業における安全指導の確保と指導者の指導力の向上を図るための地域指導者の派遣 (1) 派遣回数 20人(予定) (2) 派遣回数 各学校の実態による。 (3) 派遣期間 平成30年9月1日(金)～平成30年12月21日(金)(予定)																					
4 指導者研修会等の開催	(1) 県総合体育センターとの連携(研修会, 講習会) (2) 「運動好きな子供を育てる」指導者研修会 (3) 体育授業力アップ校内研修への派遣(推進校) (4) 体力向上推進フォーラムの開催(隔年) (5) 小学校教諭等体育セミナー(女性教諭対象)の開催(隔年) (6) 武道・ダンス指導者研修会の開催 (7) 中学校柔道授業の安全に関する指導者研修会の開催(4地区)																					
教科外体育の充実	1 小学校版・中学校版体力アップ「チャレンジかごしま」の推進	(1) 趣旨 グループやクラスなど仲間と楽しく集団で協力しながら運動に取り組むことにより, 積極的に外遊びや運動する機会を奨励するとともに, 現在推進している体力づくり「一校一運動」の取組の成果の発表の機会とし, 体力向上を図る。 (2) 取組期間推進月間を設定 (3) 実施種目(一校一運動の種目を中心として) 連続長縄跳び, 長縄8の字連続跳び, 短縄とび, 一輪車リレー, 連続馬跳び, 手つなぎ横とび等体力要素を含んだ6(2)種目(), ____は中学校 (4) 実施時間 始業前, 昼休み時間, 放課後等 (5) 記録の確認・発表 ・ホームページで県保健体育課へ記録を申告後上位の記録を公表																				
	2 体力づくり「一校一運動」の推進	(1) 各学校の特色を生かした取組の充実 ・1日15分, 週3日程度の運動の継続 ・体育等の授業の中での工夫や始業前・業間等の活動での工夫, 学校行事等の工夫 (2) 「一校一運動」取組状況の把握																				
家庭地域との連携	1 体力向上への啓発	(1) 体力向上に関する広報 ※「一校一運動」取組状況やモデル校の取組状況等の掲載 (2) 親子で取り組む「一家庭一運動」, 家庭や地域で実践できる「体力向上プログラム」等の取組の推進 (3) 幼稚園, 保育園等の指導者を対象とした研修会の開催																				
	2 イベントの開催	(1) 関係機関と連携したイベントの開催 ア スポーツプラザとの連携 イ 「チャレンジかごしま」の中の種目を実施 (2) 体力向上推進フォーラムの開催(再掲) (3) 家庭教育支援キャラバン事業における啓発(社会教育課との連携による)																				